

「可搬型ハンプ」で実証実験・検証ができます

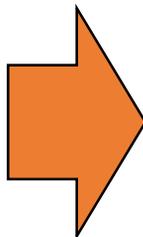
国土交通省では、生活道路の交通安全対策を支援するため、**可搬型ハンプの貸出し**を行っています。

可搬型ハンプによる実証実験の状況

佐賀県佐賀市北川副地区

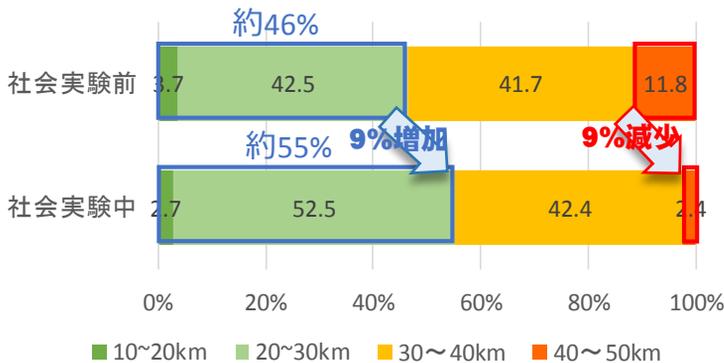


(佐賀市提供)



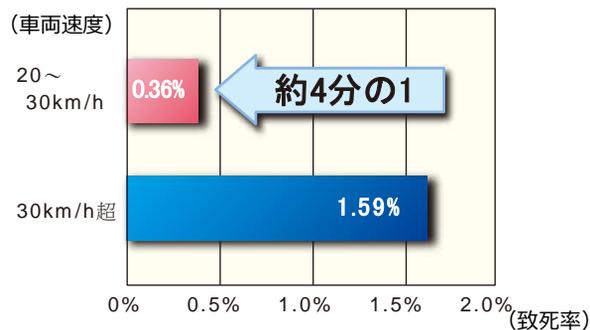
■ハンプの設置効果の検証

例) ハンプ設置箇所では30km/h以上で走行する車両の割合が9%減少



(参考)生活道路の速度別の致死率

車両速度30km/h以下の事故の致死率は4分の1



【設置例】

岐阜県大垣市 (H28.3)

広島県福山市 (H29.11)

福岡県久留米市※ (H29.1)

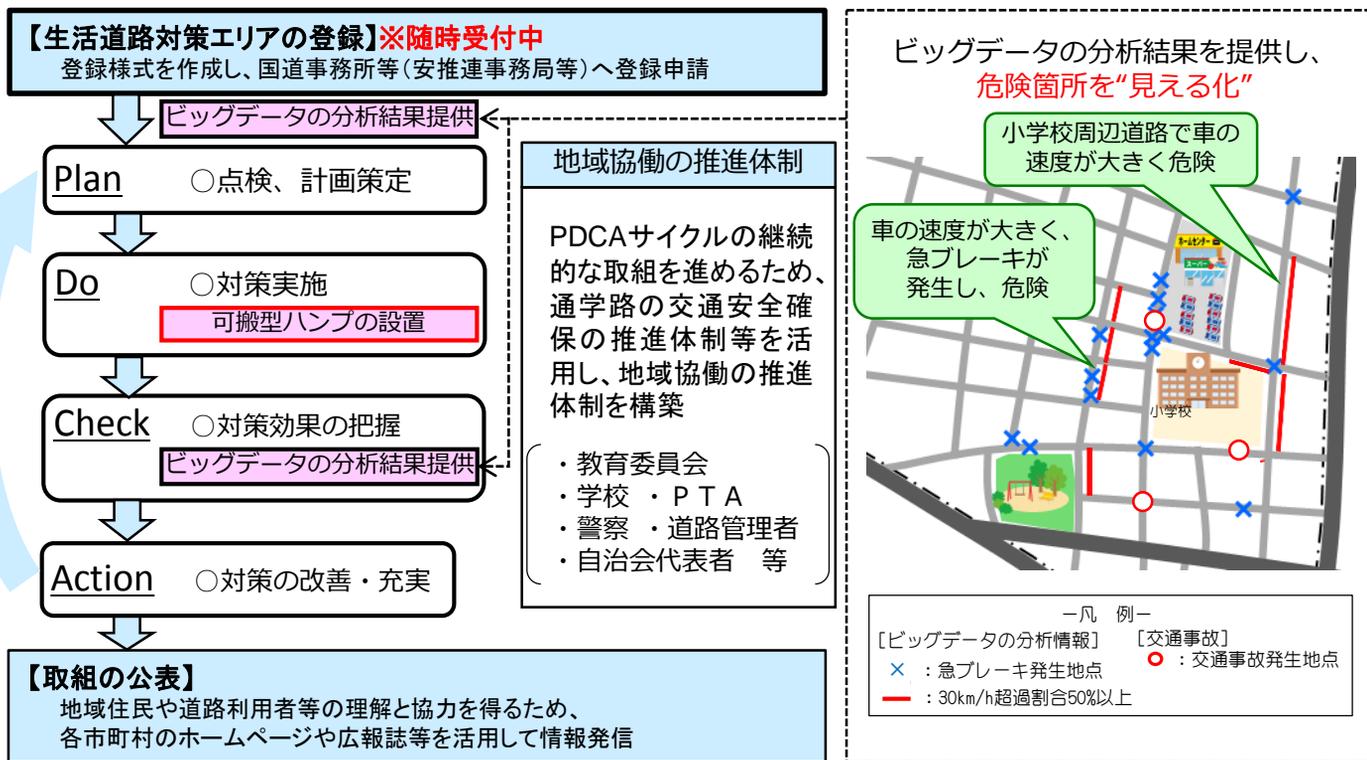


※ハンプ体験会での活用

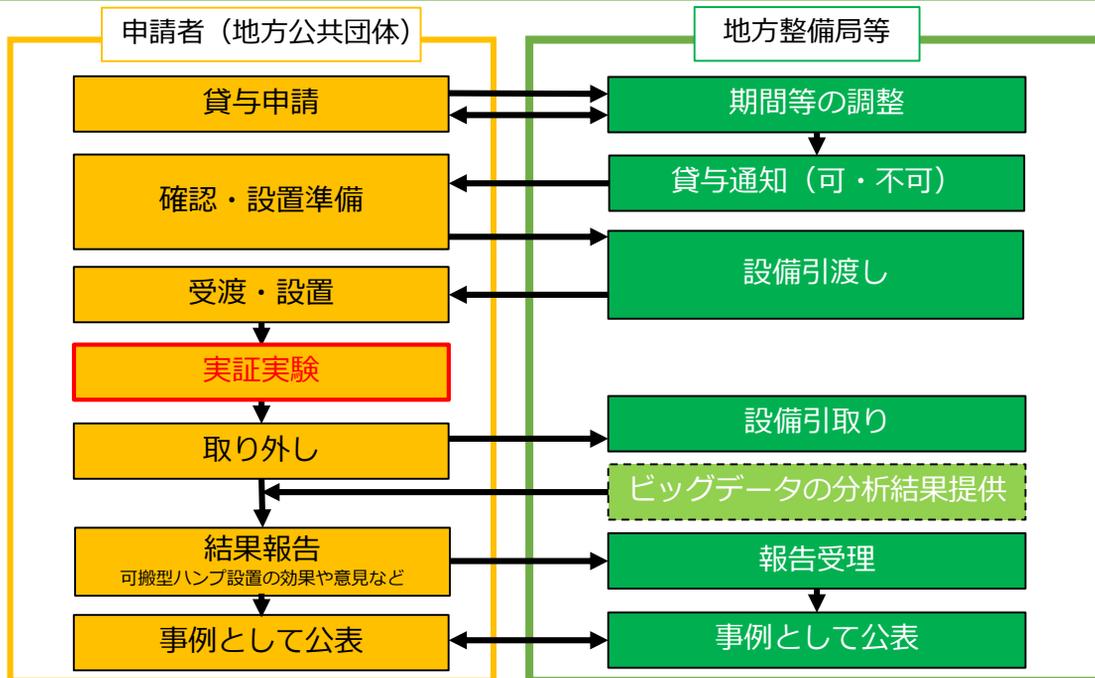
「生活道路対策エリア」の取組みを支援します

国土交通省では、交通安全対策を推進しようとする区域「生活道路対策エリア」に登録された区域への支援として**可搬型ハンプ**の貸出しを行っています。

生活道路対策エリアの取組みの流れ



可搬型ハンプの利用手順



引渡し場所と設置地区間の運搬費及び設置・撤去費は、申請者の負担です。

〈関連情報はこちらへ〉

■生活道路の交通安全対策に関するポータルサイト <http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/anzen.html>